

ヴァチカンとイスラエル

2010年10月31日 ダン・ジャスター

最近、ヴァチカンは中近東教会の指導者や司祭らのフォーラムを主催しました。ヴァチカンは、それが何に関わろうとしているのか恐らく何も分かっていなかったと思います。これらの指導者が自身の見解を表現してもらいたいとしていましたが、フォーラムはイスラエルを激しく非難する宣言で終わりました。これらの司祭らはイスラム聖戦主義者による中近東での窮状よりもイスラエルを非難しました。残念なことに、これらの指導者らはイスラム教への従属を必要とされる伝統の中で暮らしてきており、本当の宗教の自由という概念を持ち合わせていないのです。

採用された宣言は、イスラエルは国際法に反しており占領者であるという神話を繰り返しています。しかし、今までパレスチナの国というのは存在せず、あるのは1948年イスラエル側に沿った国連の決議案のみです。それが拒否された時、占領されるべき国は存在しませんでした。さらに、国連のイスラエルに対する、1967年の国境線まで撤退するように勧告する決議案は、その国境線は交渉の余地があるとし、また、アラブ人がイスラエルと平和共存することを要求するものでした。

最も憂慮すべき宣言は、ある司祭らが本気で反ユダヤ主義を露わにし、イスラエルの選びはイエスによって取り消されたと主張しているのです。これに関し、この司祭らはヴァチカンの公的教義(公教要理:674項)に対して直接造反したのです。不幸なことに、これはユダヤ教-カトリックとの関係に多大な損害を与えることになるのです。これは何も新しい問題ではありません。ヨハネ・パウロ二世がイスラエルの主権を認め、完全な外交関係を構築した時、中近東の司祭らはそれを阻止すべく、その前にありとあらゆる手を尽くしたのです。

アメリカの選挙と郵便爆弾

アメリカの中間選挙は11月2日火曜日に行われます。この時、下院の過半数を共和党が、そして上院の過半数は民主党が取ると世論は示しています。選挙の結果はオバマ大統領が自身の政策を遂行するのに大きく影響することとなるでしょう。これは国際関係やイスラエルとの関係にも同様に影響してきます。どうか神のみこころがなされますよう、至急共に祈りましょう。

先週の木曜日の午後10時半、治安部隊は二つの郵便爆弾を特定しました。一つはイギリスのノッティンガム空港でUPS貨物機から発見され、もう一つはドバイのFedEx飛行機格納庫で見つかりました。両方の爆弾には強力な爆発物(PETN)が含まれており、デジタルプリンターのインクドラムの中に隠されていました。両方の爆弾郵便物はイエメンを発送元とし、イエメンにあるアルカイダ訓練基地から発送されていました。

この郵便爆弾の標的はシカゴ地区にある二箇所のユダヤ教シナゴークでした。爆弾はサウジアラビアの情報当局から通報によって発見されました。興味深いことに、イスラエルでの報道は、一体誰が近日中に行われるアメリカでの選挙によって政治的恩恵を被るのかという話題を取り上げていました。これはオバマ大統領がイスラム政権との対話を行うという政策が勝利したと見るのでしょうか、またはテロに対して取り締まりをより強化すべきと主張する保守派の勝利として見るのでしょうか。

ヴァンダープルー家

2週間ほど前、私たちはピープル誌の投票において、ヴァンダープルー家の災害救済医療活動に対して祈り、票を投じて欲しいとお願いしました。彼らが選ばれたことを喜んで皆さんにご報告致します。ヴァンダープルー家はピープル誌において、「ヒーロー・オブ・ザ・イヤー(今年一番の英雄)」に選ばれました。 www.MMDR.org をご覧下さい。親愛なる友人に祝辞と祝福を申し上げます。

シャニさんとアンドリューさんの結婚

私たちの親愛なる霊的な娘であるシャニさんと、新しいチームメンバーとなったアンドリューさんはこの月曜日結婚します。彼らの親類縁者や友人たちなど 100 人を越すイスラエル生まれの未信者たちが参加するのを予定しています。どうかイエシュアにある神の愛の美しい、心を打つご臨在が婚礼や披露宴において満ちますようにどうぞお祈り下さい。

新しい本と小冊子

タナッハ(旧約聖書)に現れたイエシュアに関するアシェルの英語の新しい本とヘブライ語での証のトラクトが印刷されるその手配について、どうぞお祈り下さい。両方とも「アブラハムと食事を共にしたのは誰か」というタイトルです。私たちはこの本と小冊子がすぐに一般に渡ることを望んでいます。

「イスラエルはみな救われる」

最近アシェルはイスラエルでのティックーン・ツアーで教えました。教えには終わりの時のリバイバルにおけるイスラエルのメシアの体に関するビジョンや、イスラエルと諸国両方においてこのビジョンを成就させるその実践的な方法について、どう私たちが関わっていくのかという内容でした。このメッセージはローマ 11 章 25、26 節から取られた私たちの団体の基礎を成すまとめであり、同様に現在のイスラエルのメシアニック・レムナント(訳注: イエスを信じる「残りの人々」)の状況をまとめたものです。

教えの中には終わりの時に関する3つの基本点が含まれています。

マタイ 23:39 – イスラエルでのリバイバルは再臨の前に起こります。ここでのイエシュアの宣言は、ユダヤ人の選びの意味が主の初臨時だけでなく主の再臨時にも広げられ、その目的を達成させる手段となるのです。ある者はイスラエルに対する神のご計画はイエシュアの誕生と共に終わったと考えているのです。しかし、マタイ 23 章の預言は過去のみならず将来の契約の遂行を要求するものです。

マタイ 24:14 – 御国の福音は再臨前にすべての国々に伝えられなければなりません。これは個人的な救いだけでなく、地上におけるイエシュアによるメシアの御国がうち立てられ、その支配はエルサレムから行われるというメッセージも含まれます。私たちがその御国に対して準備が整わない限り、イエシュアはご自身の御国をうち立てるために戻ることができないのです。

ゼカリヤ 14:2 – 再臨直前、世界中のすべての国々はイスラエルを攻撃します。この攻撃はすべての霊的な戦いの要約ですが、集団的なものであり個人的なものです。イエシュアはイスラエルを攻撃する諸国に対して反撃するために戻ってこられます。それゆえ、私たちは決して受動的あるいは中立でいることはできません。私たちはどちらに付くのか決めなければならず、主と共に戦わなければなりません。

このメッセージにはヘブライ語放送をするテレビ局が上記の点に基づく私たちのビジョンのあらましをイスラエルと諸国に対して放送することが含まれます。すなわち、イスラエルに救いをもたらすこと、教会にイスラエルに関する情報を伝えること、そして諸国に御国の預言を伝えるのです。

アシエルの英語の教えが録音されることはまれですので、皆さんに自由に聞いてもらえるようにしました。そのメッセージを聞きたいと望む方は、こちらからダウンロードして下さい。

<http://www.mediafire.com/file/5wny0dpm6x95cb1>